

中間評価における各効果事例

資料 2-2

効果のカテゴリー	市町村名	活動組織名	事例のタイトル	事例の概要	備考
地域資源の適切な保全管理	清水町	しみず環境保全広域協定	(1) 1 地域資源の適切な保全管理の推進	事務作業の委託や活動組織の広域化により組織体制の強化が図られたことにより、農業者の作業負担が軽減され施設の適切な保全管理につながっている。	
農業用施設の機能増進	栗山町	栗山町多面的機能推進協議会 広域協定	(1) 2 農業用施設の機能増進の推進	施設の長寿命化の活動で土水路をコンクリートフリーフォーム水路に更新したことにより、施設の機能増進が図られるとともに維持管理の労力が軽減されている。	
農村環境の保全・向上	下川町	中央・上名寄地区資源保護隊	(1) 3 農村環境の保全・向上の推進	「農地周りの環境改善活動の強化」の取組の一環として定点暗視カメラで生態を把握し、出没箇所に箱わなを設置することにより、効果的な捕獲につながり、有害鳥獣（アライグマ）による農作物被害の軽減を図っている。	
自然災害の防災・減災・復旧	岩見沢市	岩見沢市広域協定	(1) 4 自然災害の防災・減災・復旧の推進	水田の落ち口にV字型の田んぼダム用堰板を設置し、水田の雨水貯留機能を活動した田んぼダムの取組を行うことにより、排水機場への負荷軽減が図られるなど、地域の防災・減災に寄与している。	
農村の地域コミュニティの維持・強化への貢献	厚沢部町	当路地区環境保全会	(2) 1 農村の地域コミュニティの維持・強化への貢献の推進	鹿子舞保存会と連携して農村文化伝承活動に取り組むことにより、地域で集まる機会や交流する場が増加するなど農村コミュニティの強化につながっている。	
構造改革の後押し等地域農業への貢献	北竜町	北竜町活動組織	(3) 1 構造改革の後押し等地域農業への貢献の推進	景観形成活動の一環としてひまわりの植栽を実施することにより、町づくりのシンボルとしてブランド化。観光客の増加や消費者へのPRIに寄与し、農産物の高付加価値化や6次産業化に繋がっている。	
都道府県独自の取組	標茶町	標茶西地区農地・水保全隊	(4) 北海道独自の取組の推進	排水路に設置された沈砂池の土砂上げを行うことにより、湿原への土砂流出が抑制され生態系保全に寄与している。	



(1) 1) 地域資源の適切な保全管理の推進

平地農業地域



キーワード
地域資源の
保全管理

かんきょうほぜんこういききょうてい

しみずちょう

しみず環境保全広域協定（北海道清水町）

- 清水町では、12の活動組織による保全管理活動が行われてきたが、高齢化や後継者不足により活動終了となる組織も出るなど、適切な地域資源の保全管理が困難となっていた。
- このため、各々の活動組織で行っていた事務作業の負担軽減を目的に、事務を委託するとともに、広域化による組織体制の強化を図った。
- これにより、農業者は事務処理の負担が軽減されるとともに、外注等による維持補修体制が構築されるなど、施設の適切な保全管理が図られた。

【地区概要】※R2年度時点

- ・認定農用地面積 4,603ha
(畑 3,387ha、草地 1,216ha)
- ・資源量 水路 85km、農道 72km
- ・主な構成員 農業者、自治会、女性会、子供会
- ・交付金 約 49百万円(R2)

農地維持支払
資源向上支払(共同)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、高齢化や後継者不足により、事務処理を担う人材確保に苦労しており、活動終了となる組織も出るなど、適切な地域資源の保全管理が困難になっていた。
- 保全管理する水路や農道は大規模なものもあり法面の斜面が長いことなどから作業が負担となり、安全性の確保も課題となっていた。



農道側溝の雑木伐採

取組内容

- 事務作業の委託により、負担軽減を図るとともに、町内の8組織が広域化することにより組織体制の強化を図った。
- 保全活動（土砂上げ、法面補修、敷砂利等）の外注等による大規模組織ならではの維持補修体制を構築。



農道の敷砂利

取組の効果

- 事務作業の委託により農業者の事務負担の軽減が図られ、保全活動や営農に専念することが可能。

<事務作業時間>

広域化前	月40時間
広域化後	作業なし

大幅に削減

- 広域化後は各組織の代表者による点検で補修箇所を決定して、外注の大型契約により適期の対応が可能となった。



施設の点検



外注による水路の泥上げ



(1) 2) 農業用施設の機能増進

中間農業地域



キーワード

農業用施設の機能増進

くりやまちょうためんてききのうすいしんきょうぎかいこういききょうてい

くりやまちょう

栗山町多面的機能推進協議会広域協定（北海道栗山町）

- 中山間地域で急傾斜が多い本地域では、雪解けや大雨時に土砂が流出し、年間を通して土砂上げに多くの労力を費やしていた。
- このため、資源向上支払（長寿命化）の取組により、土水路をコンクリートトラフに更新し、施設の機能増進を図った。
- これにより、土砂上げ作業の労力が削減され、維持管理の労力が大幅に軽減された。

- 【地区概要】※R2年度時点**
- ・認定農用地面積 5,182ha
(田 3,672ha、畑 1,510ha)
 - ・資源量 水路 336km、農道 215km
ため池 17箇所
 - ・主な構成員 農業者、土地改良区
農業振興公社
 - ・交付金 約 180百万円(R2)
- (農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化))

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、急傾斜の地域であり、雪解けや大雨時に土砂が流出し、年間を通して堆積した土砂上げに多くの労力を費やしていた。
- 土砂が流出する水路は未整備の土水路であり、早急にコンクリートトラフに更新し施設の機能増進を図る必要があった。

取組内容

- 資源向上支払（長寿命化）の取組により、土水路をコンクリートトラフに順次、更新。



施行前



施行中

取組の効果

- 土砂上げに要する時間
R2 4時間×2回/年×4人=32時間
R3 土砂の堆積がなく、作業時間なし
(※ R2施工 L=600mの排水路の場合)
- 土砂の堆積がなくなったことにより、維持管理の労力が大幅に軽減。



施行後



(1) 3) 農村環境の保全・向上の推進

中間農業地域



キーワード
農村環境の
保全・向上

ちゅうおう・かみなよろちくしげんほごたい しもかわちょう
中央・上名寄地区資源保護隊（北海道下川町）

- 本地域は、過疎化・高齢化などの進行に伴う集落機能の低下により、地域資源の適切な保全管理が困難となりつつあった。
- このため、農業者だけではなく地域住民や関係団体等が幅広く参加する活動組織を設立し、施設の簡易補修のほか農村の自然環境や景観を守る共同活動を地域に根付かせている。
- これにより、近年、頻出している有害鳥獣アライグマの農作物被害の対策を講じる際には、多くの農業者や関係者の協力を得ながら、定点暗視カメラや箱わなの設置を進めている。

【地区概要】※R2年度時点

- ・認定農用地面積 293ha (田293ha)
 - ・資源量 水路 71km、農道 35km
 - ・主な構成員 農業者、公区、土地改良区等
 - ・交付金 約 12百万円(R2)
- 〔 農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化) 〕

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、過疎化・高齢化などの進行に伴う集落機能の低下により、地域資源の適切な保全管理が困難となりつつあった。
- 近年は、有害鳥獣アライグマの頻出により、農作物被害が増加している。



景観美化の花壇植栽



農道の草刈り共同作業

取組内容

- 共同作業に地域住民や関係団体等が幅広く参加し、農道では砂利補充、水路では泥上げ作業及び老朽化した水路の補修工事を実施している。
- 定点暗視カメラでアライグマの生態を監視し出没箇所に箱わなを設置し、農作物被害の軽減を図っている。



箱わなとアライグマの爪跡

用水路目地詰め共同作業

取組の効果

- 維持管理の不十分な施設は減少し、水路の漏水等は解消されつつあり、減災体制も強化された。
- カメラ40台と箱わな3個を設置した対策により、令和2年度は4匹捕獲。
- 農業被害の軽減のほか、安定した農業生産環境の維持、地域の有害鳥獣対策への意識向上が図られている。



定点暗視カメラ設置撮影状況

vosoda CAMERA 1 08-29-2020 00:59:43



(1) 4) 自然災害の防災・減災・復旧の推進

都市的地域



キーワード
・自然災害の防災・減災・復旧

【地区概要】※R2年度時点

- ・認定農用地面積 17,178ha
(田 15,317ha、畑 1,845ha、草地 16ha)
- ・資源量 水路 2,976km、農道 1,189km
ため池 9ヶ所
- ・主な構成員 農業者、自治会、女性会
JA、農事組合法人 など
- ・交付金 約 636百万円(R2)

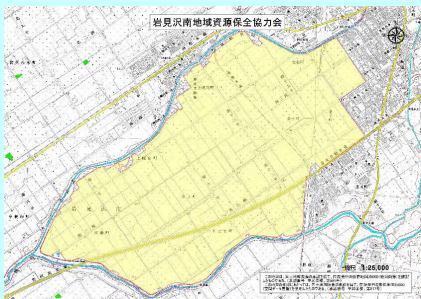
農地維持支払
資源向上支払(共同)

いわみざわしこういききょうてい いわみざわし
岩見沢市広域協定（北海道岩見沢市）

- 本地域では、大雨時に農業用排水路や小河川の溢水のおそれがあるなど、洪水対策が地域の大きな課題となっていた。
- このため、『災害に備えて活力のある農業・農村』を目指して、田んぼダム用堰板を設置するなど平成30年度から本格的に田んぼダムの取組を開始。
- これにより、大雨時に排水路への流出が抑制されるなど、地域の防災・減災に寄与している。

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、石狩川の中下流域で河川の合流も多く、大雨時に農業用排水路や小河川の溢水のおそれがあるなど洪水対策が地域の大きな課題となっていた。
- 市内に15箇所ある農業用排水機場は、近年の気候変動の影響から稼働回数が多くなり、機場への負荷も懸念されていた。



取組区域図

取組内容

- 水田の落ち口にV字型の田んぼダム用堰板を設置し、水田の雨水貯留機能を活用した田んぼダムの取組を開始。
※ 取組面積 770ha（R2時点）

田んぼダム用堰板



降雨時は、V字部分の断面に応じて排水されるため、堰板操作が不要。（最大で10cmの雨水の貯留が可能）



通常時



降雨後

取組の効果

- 田んぼダム用堰板の活用により、大雨時の堰板操作や田んぼの見回りが不要となるなど農業者の負担軽減が図られた。
- 大雨時に排水路への流出が抑制されることにより、排水機場の負荷軽減が図られるなど、地域の防災・減災に寄与している。



排水機場の負荷軽減



(2) 1)農村の地域コミュニティの維持・強化への貢献

中間農業地域



キーワード

農村の地域コミュニティの維持・強化への貢献

とうろちくかんきょうほぜんかい

あつさぶちよう

当路地区環境保全会 (北海道厚沢部町)

- 本地域は、高齢化や後継者不足等による担い手農業者の経営面積増加により、地域資源の保安全管理が大きな負担となっていた。
- このため、平成26年度から本対策に取り組むこととし、29年度からは地域コミュニティの取組を強化するため、清掃活動、植栽活動や鹿子舞保存会との連携による農村文化伝承活動に取組。
- これにより、地域内交流が活発となり世代間交流の増加など、地域コミュニティの維持、強化に繋がっている。

【地区概要】※R2年度時点

- ・認定農用地面積 117ha(田 117ha)
- ・資源量 水路 24km、農道 7km
ため池 1ヶ所
- ・主な構成員 農業者、老人クラブ、
鹿子舞保存会
- ・交付金 約 5百万円(R2)

農地維持支払
資源向上支払(共同)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、地域住民の減少や高齢化の進行により、担い手農家の経営面積が増加し、農地や施設の管理が手薄となっていた。
- 施設の保安全管理や地域の花壇づくりは自費で実施していた。
- 地域コミュニティが希薄となりつつあり、集落機能の低下が懸念されていた。



取組内容

- 法面の草刈や外注も活用した農道の砂利敷きなど地域資源の保安全管理活動を実施。
- 地域内交流を目的に町内会や老人クラブと連携した清掃活動や植栽活動を実施。
- 鹿子舞保存会と連携し、農村文化伝承活動に取組み、町新年交流会で披露するなど農村コミュニティを強化。



清掃活動



農道の砂利敷き

取組の効果

- 施設の補修等が容易に行え、適切な保安全管理が可能となった。
- 活動を通じて地域住民が集まる機会が増え町内会や老人クラブなど団体間の交流が活発となった。
- 農村文化伝承活動を通じて、世代間交流が増加することで、過疎化が進行する中でも保存会員数を確保することができた。



伝統芸能の鹿子舞

- 地域住民人口 (H26) (R2)
109人 → 85人
※ 22%の減少
- 保存会員数 (H29) (R2)
17人 → 17人
※ 増減なし

ほくりゆうちょうかつどうそしき

ほくりゆうちょう

北竜町活動組織（北海道北竜町）

- 本地域は、農家戸数の減少などから施設等の保安全管理が困難となっていた。また、景観形成として実施していたひまわりの植栽は、個々に実施し点在していた。
- このため、活動組織による共同活動を実施するとともに、ひまわりの植栽を景観形成活動の一環として共同活動に位置づけ集約化などに取組。
- これにより、保安全管理労力の低減に繋がるとともに、景観形成活動は町づくりのシンボルとしてブランド化。農産物の高付加価値化や6次産業化に寄与している。

【地区概要】※R2年度時点

- ・認定農用地面積 2,787ha
(田 2,478ha、畑 309ha)
- ・資源量 水路 207km、農道 85km
- ・主な構成員 農業者、自治会、JA 商工会 など
- ・交付金 約 97百万円(R2)

農地維持支払
資源向上支払(共同)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、農家戸数の減少により、各農家が実施する施設等の保安全管理が困難となっていた。
- 景観形成、町のシンボルとして各農家が農地でひまわりの植栽を開始していたが、植栽範囲が点在しており、集約化が課題となっていた。



土砂上げ



農道の砂利補充

取組内容

- 施設等の保安全管理について、共同活動による管理体制を確立するため、活動組織を設立
- 「ひまわりの里」を核とした植栽が町全域で推進されていたが、ひまわりの植栽を共同活動に位置づけ、作付け時期等の工夫や植栽活動の集約化を実施。



播種風景



ひまわり開花風景

取組の効果

- 地域の共同活動により、維持管理労力の低減に繋がった。
- ひまわりの植栽は町全域で推進され、植栽活動の集約化等により、単なる観光資源にとどまらず、町づくりのシンボルとしてブランド化
- 観光客の増加や消費者へのPRに寄与し、ひまわりライス等の高付加価値化やひまわり油の販売促進など6次産業化に繋がっている。



刈り取り風景



ひまわり油



(4) 都道府県独自の取組

平地農業地域



キーワード
都道府県独自の取組

しべちやにしちくのうち・みずほぜんたい 標茶西地区農地・水保全隊（北海道標茶町）

- 本地域は、北海道の東部に位置する大規模酪農地帯にあり、釧路湿原に隣接していることから貴重な野生動植物の生息地として生態系保全が特に重要な地域である。
- このため、施設の適正な保安全管理に取り組みるとともに、畜産排水が生態系や環境の保全に与える影響に配慮し草地の土砂等が湿原に流出しないよう沈砂池の適切な管理に取り組んでいる。
- これにより、地域に一体感が生まれ、遊休農地の発生を防止するとともに担い手農家への農地集積へとつながり草地の保全が図られている。

【地区概要】※R2年度時点

- ・認定農用地面積 1,514ha
(草地 1,514ha)
- ・資源量 水路 13km、農道 20km
- ・主な構成員 農業者、非農業者、JA
- ・交付金 約 4百万円(R2)

〔 農地維持支払
資源向上支払(共同) 〕

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、日本最大の釧路湿原に隣接し、特別天然記念物であるタンチョウのほか、イトウ、キタサンショウウオなど多くの希少種が生息している。
- このため、草地からの土砂の流出、雑草やゴミの拡散の防止など生態系保全に配慮すべき地域であった。
- また、離農者の増加による担い手農家の不足などから農地や施設の保安全管理の粗放化による遊休農地の発生が懸念されていた。

取組内容

- 生態系や環境の保全のため農地からの土砂流出を抑制する大規模な沈砂池(7カ所)の土砂上げを定期的に実施。
- 排水路や農道の草刈りや除草後の適正処理とあわせ、施設周辺のゴミ拾いを行う環境保全の取組を実施。



取組の効果

- 沈砂池の適正な管理により、畜産排水は環境への負荷を極力低減させて排出している。
- 地域の環境保全に取り組む意識が向上し、地域の一体感が生まれ、担い手農家への農地集積が図られている。
- 遊休農地の発生を抑制し、平成20年度以降、遊休農地は発生していない。



土砂を沈殿させ湿原へつながる河川に排水して、湿原への土砂流入を抑制している。(土砂上げ後)
※ 令和2年度 土砂浚渫量 544立法メートル

中間評価に係る作業スケジュールについて

年月日	国 農林水産省	道 〈制度検討会〉	市町村 (活動組織)
3. 4. 21	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">中間評価 実施通知</div>		
3. 8. 4~ 3. 9. 1		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">市町村・活動組織 効果等アンケート 調査依頼</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">市町村・活動組織 効果等アンケート 回 答</div>
3. 8. 25		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">〈制度検討会〉 概要・実施 方法等説明</div>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">〔 中間評価書 (事務局案)調整 〕</div>	
3. 10. 1		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">中間評価書 (事務局案)提出</div>	
<u>3. 11. 24</u> (本日)		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">〈制度検討会〉 中間評価書(案) の説明</div>	
4. 1. 7		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">中間評価書 提 出</div>	
4. 2~3		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">〈制度検討会〉 中間評価書 の報告</div>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">中間評価書 公 表</div>	

令和3年度 北海道多面的機能支払制度検討会
今後のスケジュールについて

- 検討会実施予定
 - 令和3年度 第1回 (開催済み)
 - (1) 開催時期
令和3年8月25日(水)
 - 令和3年度 第2回
 - (1) 開催時期
令和3年11月24日 ※本日
 - 令和3年度 第3回
 - (1) 開催時期
令和4年2～3月
 - (2) 主な議題
 - 令和3年度多面的機能支払交付金の実施状況について
 - 令和4年度多面的機能支払交付金の実施計画について
 - 中間評価書の報告
 - その他